

令和6年度(2024年度) 一般会計(歳出)性質別決算額

	20億	40億	60億	80億	100億	120億	140億	160億	180億
令和5年度 (2023年度)	人件費 28億7,076万円	扶助費 17億 3,531万円	公債費 29億3,365万円	普通建設事業費 19億9,518万円 災害復旧費 4億7,263万円	物件費 24億 367万円 補助費等 27億 253万円 維持修繕費 1億 2,853万円 積立金 8億 2,302万円 出資金 4億 7,472万円	繰出金 12億 8,239万円			
令和6年度 (2024年度)	人件費 30億7,712万円	扶助費 18億 4,790万円	公債費 19億211万円	普通建設事業費 19億8,090万円 災害復旧費 9億326万円	物件費 25億8,195万円 補助費等 27億3,715万円 維持修繕費 1億9,754万円 積立金 14億3,863万円 出資金 4億9,362万円	繰出金 12億 5,321万円			
	義務的経費			投資的経費		その他経費			

令和6年度(2024年度) 決算の概要

歳入

前年度と比べて3億9083万円の増額となりました。項目別で増額・減額となった主なものは次のとおりです。

● 増額となったもの

- ・ 県支出金
- 令和5年(2023年)6月発生の豪雨災害関連の災害復旧事業費補助金など
- ・ ふるさと応援寄附金

● 減額となったもの

- ・ 地方税
- 定額減税などによる減収

歳出

前年度と比べて5億9100万円の増額となりました。項目別で増額・減額となった主なものは次のとおりです。

● 増額となったもの

- ・ 総務費
- ふるさと応援基金などへの積立金

- ・ 民生費
- 金屋第一こども園・金屋学童保育施設整備事業および御霊学童保育施設整備事業の実施

● 減額となったもの

- ・ 商工費
- 二川温泉・宿泊施設「白馬」解体撤去事業の終了およびしみず温泉の完成に伴い事業費が減少
- ・ 土木費
- 町道北筋西丹生図2号線道路新設事業の終了により事業費が減少
- ・ 公債費
- 令和5年度(2023年度)に実施した地方債の任意繰り上げ償還の影響により元利償還金が減少

目的税などの用途の明確化について

- ・ 入湯税については、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設および消防施設その他消防活動に必要な施設の整備ならびに観光の振興に要する費用に充てる目的税であることから、観光振興基金へ積み立てています。
- ・ 地方消費税交付金の社会保障財源化分については、老人福祉費、障害者福祉費、児童福祉総務費および児童措置費へ充当しています。

一般会計決算額を 町民1人あたりに換算すると…

1人あたりの町税負担額は
12万8,512円 (前年比0.4%減)

1人あたりの町債残高は
50万8,525円 (前年比2.4%減)

※人口(令和7年(2025年)3月末現在) 2万4,831人

用語解説

一般会計・特別会計／さまざまな事業に対応するため、収支が複雑化しないように財布を分けています。一般会計は行政運営の基本的な経費を網羅して計上した会計であり、特別会計以外の全ての経費は一般会計で処理しています。一方、特別会計とは、一般会計に対し、特定の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して処理するための会計です。

実質収支額／形式収支(各会計年度における歳入総額から歳出総額を単純に差し引いた額)から、翌年度への繰り越すべき財源を差し引いた額。

町債／特定の歳出に充てるため、町が年度を超えて元利を償還する借入金のこと。